

2025年度 決算ハイライト

2026年5月15日

● 経常利益

八十二長野銀行単体の資金利益および株式等関係損益が増加したこと等により、前期比+176億円となりました。

● 親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益の増益に伴い、前期比+165億円となりました。

◆ 連結（億円）	2025/3	2026/3	前期比
連結粗利益	1,132	1,280	147
資金利益	1,043	1,167	124
役務取引等利益	177	203	25
特定取引利益	2	4	2
その他業務利益	▲91	▲95	▲4
営業経費	725	811	85
与信関係費用	15	3	▲12
株式等関係損益	305	350	44
金銭の信託運用損益	▲2	▲3	▲0
経常利益	638	815	176
特別損益	10	▲16	▲26
親会社株主に帰属する当期純利益	479	645	165

過去最高益

<通期決算>

経常利益

これまでの最高益
638億円（2024年度）

当期純利益

これまでの最高益
479億円（2024年度）

◆ 八十二長野銀行単体	(億円)*2025/3	2026/3	前期比
業務粗利益 (A)	963	1,100	137
資金利益	958	1,114	156
役務取引等利益	104	127	22
その他業務利益	▲101	▲146	▲44
国債等債券損益 (B)	▲119	▲163	▲44
経費 (C)	614	718	104
実質業務純益 (A-C)	348	381	32
コア業務純益 (A-B-C)	467	545	77
除く 投資信託解約損益	481	544	63
一般貸倒引当金繰入額 (D)	▲5	—	5
業務純益 (A-C-D)	353	381	27
株式等損益 (E)	295	352	56
臨時損益			
金銭の信託運用損益 (F)	▲2	▲3	▲1
不良債権処理額	22	5	▲17
貸倒引当金戻入益	—	8	8
経常利益	599	758	158
特別損益	11	42	31
固定資産処分損益	12	▲0	▲13
減損損失	1	14	13
抱合せ株式消滅差益	—	57	57
当期純利益	459	665	205
有価証券関係損益 (B+E+F)	173	184	10
与信関係費用	17	▲3	▲20

※ 「八十二銀行」単体

● 資金利益

国内業務部門の貸出金利息および有価証券利息配当金の増加により前期比+156億円となりました。

※ 2025年度より投資事業組合会計処理を変更しております。
その結果、資金利益約56億円減少となりますが、臨時費用も同額減少となるため、経常利益には影響ありません。

● コア業務純益

経費は増加したものの、資金利益および役務取引等利益の増加により、前期比+77億円となりました。

経常利益 および 当期純利益

過去最高益

● 経常利益

コア業務純益の増加、株式等売却益の増加を主因として前期比+158億円となりました。

これまでの最高益
599億円（2024年度）

● 当期純利益

前期比205億円増加して、665億円となりました。

これまでの最高益
459億円（2024年度）

◆ 長野銀行単体（億円）

	2025/3	※2025/12
業務粗利益（A）	42	50
資金利益	85	51
役務取引等利益	▲0	▲0
その他業務利益	▲42	▲0
国債等債券損益（B）	▲41	▲0
経費（C）	85	58
実質業務純益（A-C）	▲43	▲7
コア業務純益（A-B-C）	▲1	▲7
除く 投資信託解約損益	▲4	▲7
一般貸倒引当金繰入額（D）	—	—
業務純益（A-C-D）	▲43	▲7
株式等損益（E）	22	2
金銭の信託運用損益（F）	▲0	—
不良債権処理額	0	▲0
貸倒引当金戻入益	3	4
経常利益	▲15	6
特別損益	1	▲1
当期純利益（四半期純利益）	▲15	5
有価証券関係損益（B+E+F）	▲19	2
与信関係費用	▲3	▲4

※ 変則決算：2025年12月期

※ 2026年1月1日に八十二銀行を存続会社として合併しました

- 国内業務部門は、利回り改善による貸出金利息および有価証券利息配当金の増加を主因として前期比+142億円となりました。
- 国際業務部門は、預貸金粗利ざや拡大などから前期比+15億円となりました。

◆ 資金利益 (億円)

	八十二		八十二長野		<2行合算>	
	2025/3	2026/3	2025/3	2026/3	八十二+長野	八十二長野+長野※
国内業務部門	836	978	921	1,030		
資金運用収益	930	1,230	1,021	1,293		
貸出金利息	472	657	540	704		
有価証券利息配当金	365	386	384	394		
資金調達費用 (▲)	94	253	100	264		
預金利息 (▲)	47	165	53	176		
国際業務部門	121	136	121	136		
資金運用収益	472	432	472	432		
貸出金利息	188	168	188	168		
有価証券利息配当金	270	259	270	259		
資金調達費用 (▲)	350	296	350	296		
預金利息 (▲)	41	26	41	26		

◆ 利回り/利ざや (%)

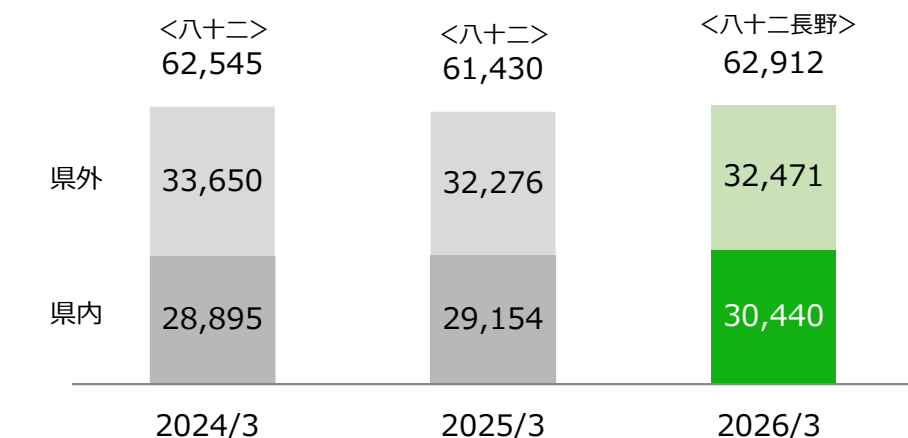
	八十二		八十二長野		前期比
	2025/3	2026/3	2025/3	2026/3	
国内業務部門					
資金運用利回	0.81	1.07			0.26
貸出金利回 (A)	0.81	1.10			0.29
有価証券利回	1.57	1.65			0.08
資金調達利回	0.08	0.22			0.14
預金利回 (B)	0.05	0.18			0.13
預貸金粗利ざや (A - B)	0.76	0.92			0.16
国際業務部門					
資金運用利回	4.81	4.46			▲ 0.35
貸出金利回 (C)	5.28	4.64			▲ 0.64
有価証券利回	4.58	4.44			▲ 0.14
資金調達利回	3.62	3.11			▲ 0.51
預金利回 (D)	3.61	2.70			▲ 0.91
預貸金粗利ざや (C - D)	1.67	1.94			0.27

※ 変則決算：2025年12月期

- 貸出金平残は、中央政府向け貸出金が減少しましたが、法人向けおよび消費者向けが増加したことから、全体で増加しました。預金平残は、引き続き堅調に推移しました。

◆ 貸出金（平残）

（単位：億円）



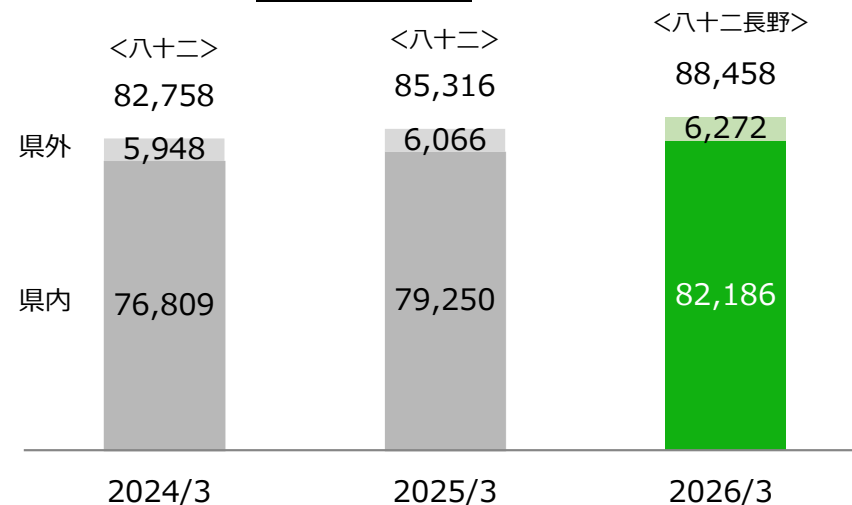
（ご参考）

中央政府向け貸出金
＜平残＞

	2024/3	2025/3	2026/3
中央政府向け貸出金 ＜平残＞	5,133億円	2,835億円	231億円

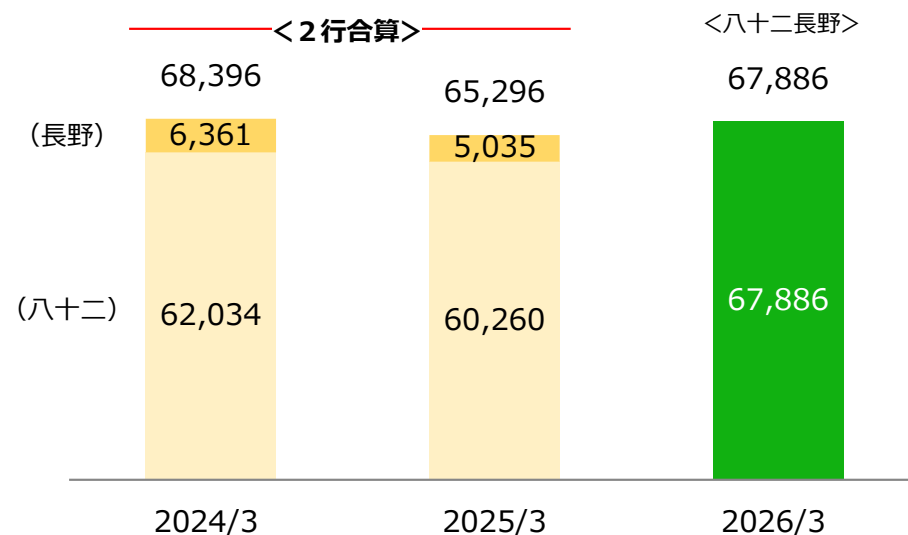
◆ 預金（平残）

（単位：億円）



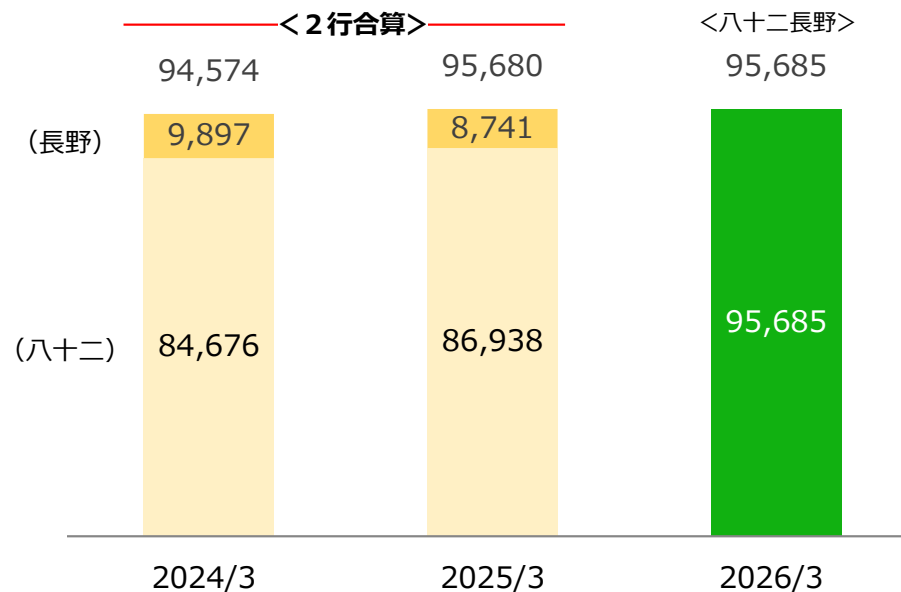
◆ 貸出金（末残）

（単位：億円）



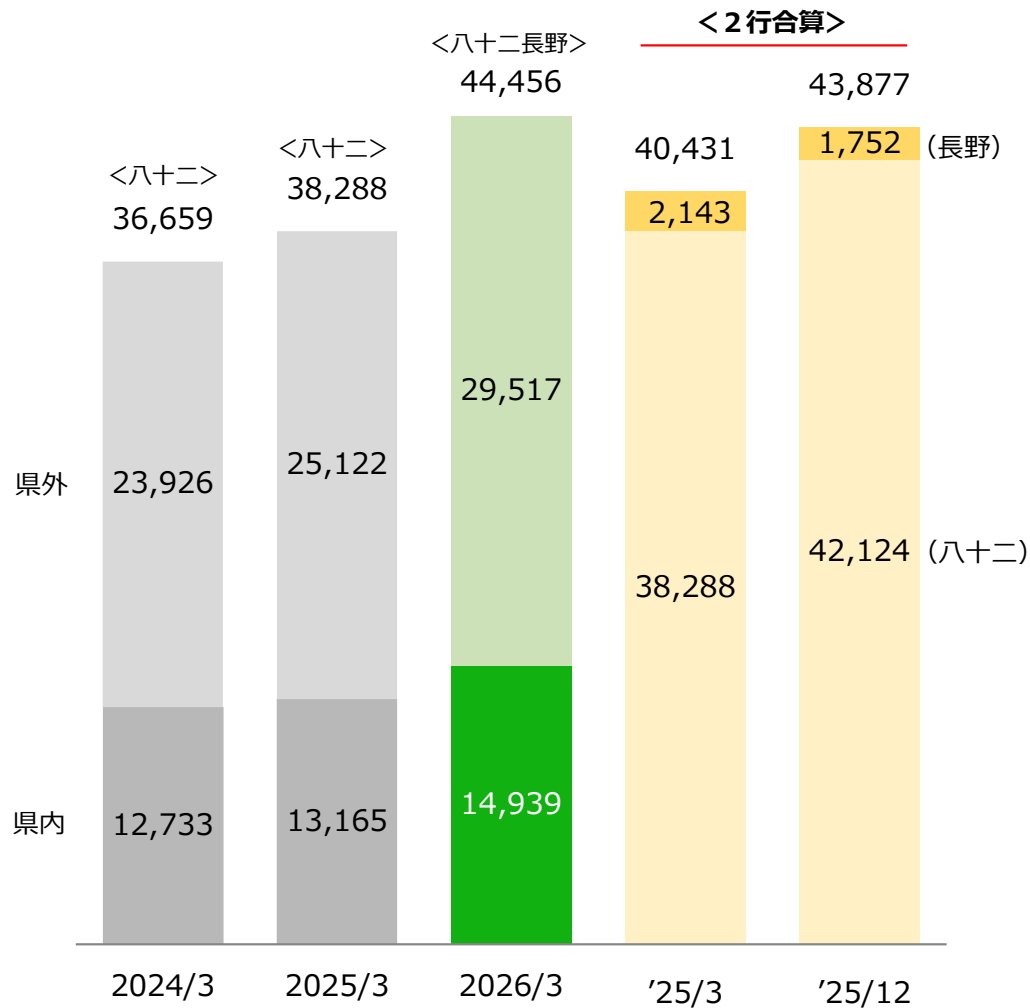
◆ 預金（末残）

（単位：億円）



- 長野銀行との合併により、残高・先数ともに増加しました。
- 設備投資や運転資金需要が堅調に推移したことを背景に、法人向け貸出金残高・中小企業向け貸出金残高はともに増加しました。

◆ 法人向け貸出金残高（末残） （単位：億円）



◆ 融資先数 （単位：先）

	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
全店	28,420	28,604	31,980
県外	3,767	3,807	3,906
県内	24,653	24,797	28,074

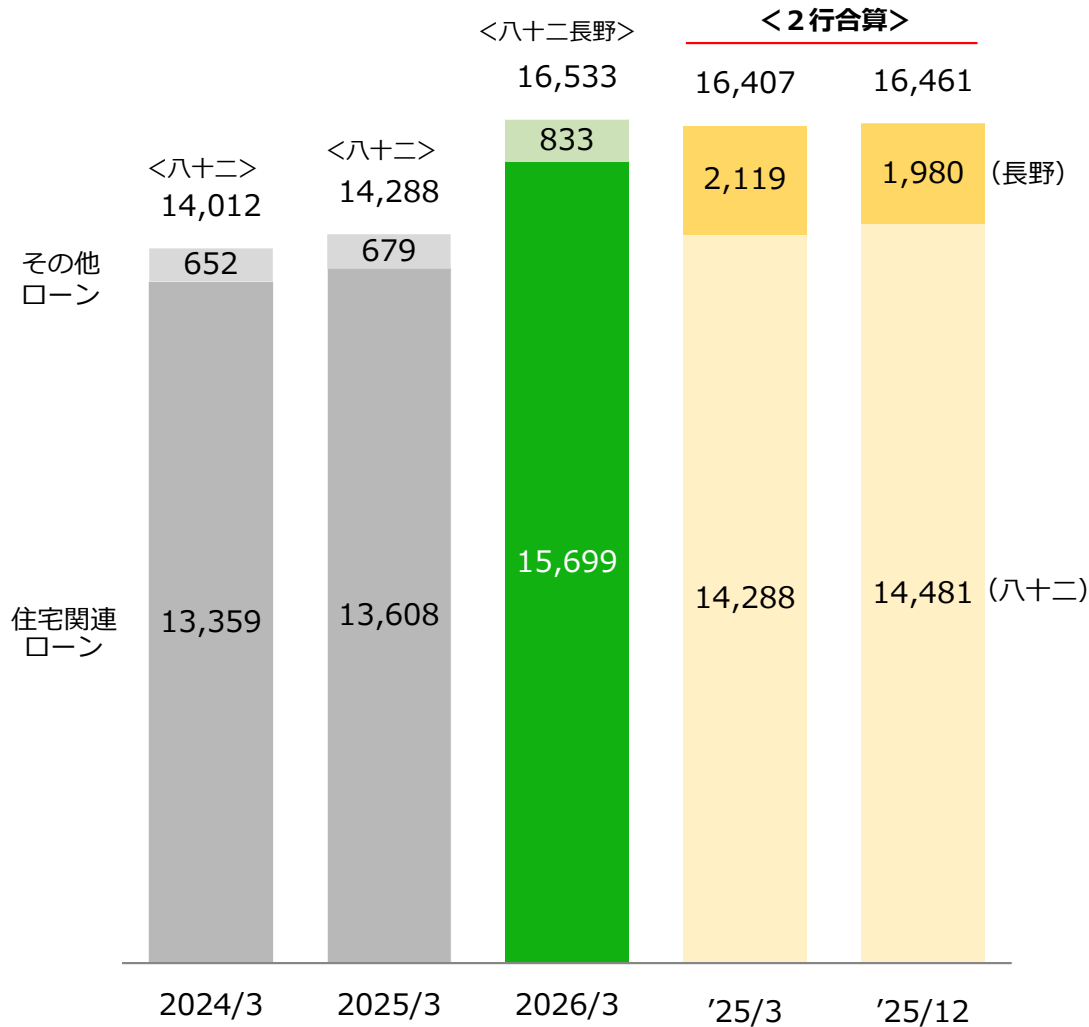
◆ 中小企業向け貸出金残高（末残） （単位：億円）

	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
残高	17,203	18,302	21,422
法人向け貸出金に占める割合	46.9%	47.8%	48.1%

※ 中小企業（地方公共団体・公社を除く）+個人事業主

- 個人向け貸出金残高は過去最高を更新しました。
- 競争力を高めるための商品性見直しが奏功し、新規実行額は反転しました。

◆ 個人貸出金残高（末残） （単位：億円）



◆ 住宅ローン新規実行額 （単位：億円）

	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
新規実行額	1,177	1,137	1,148
変動金利 (構成比)	1,147 (97.4%)	1,119 (98.4%)	1,117 (97.2%)
10年固定 (構成比)	21 (1.7%)	9 (0.7%)	19 (1.6%)

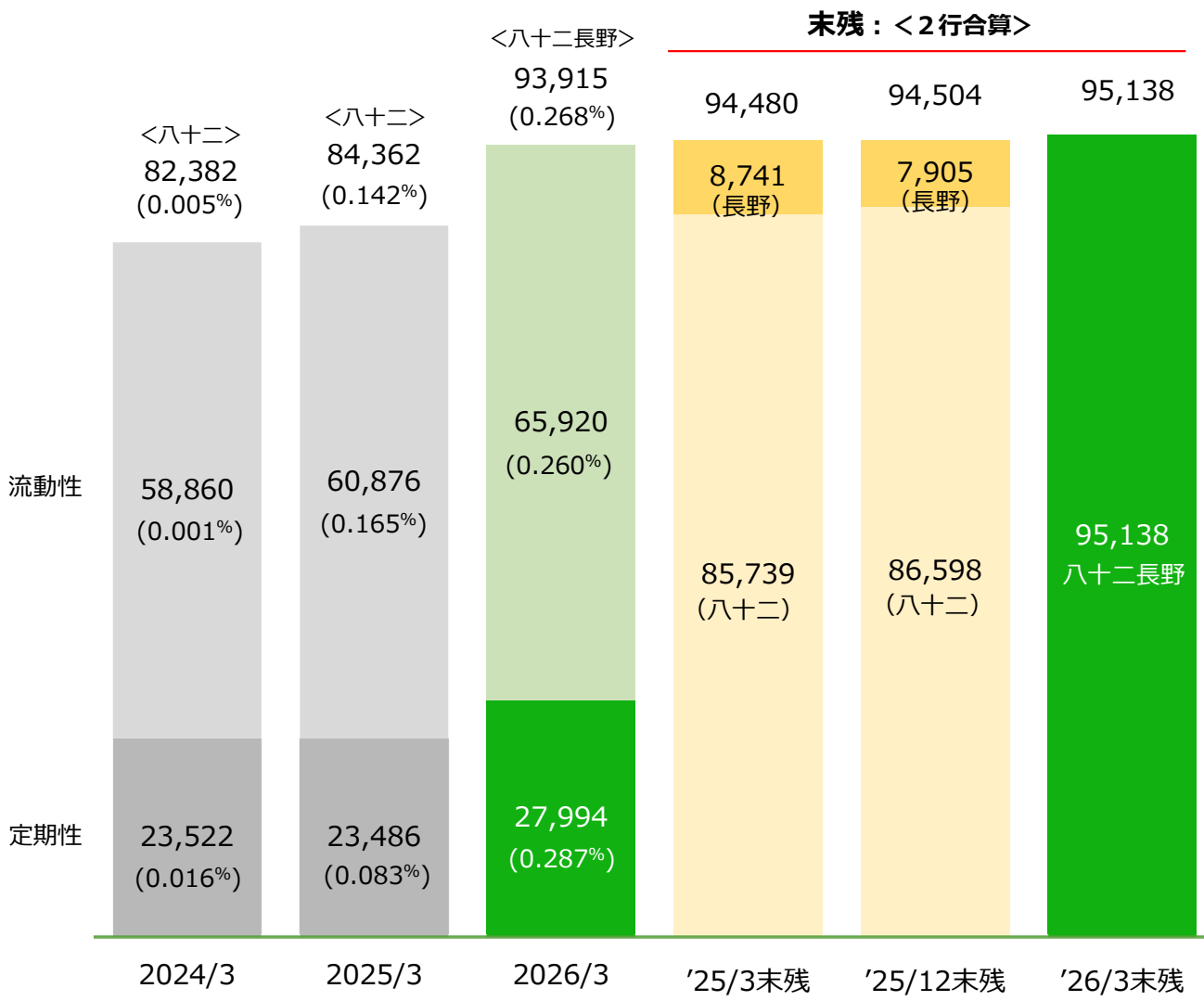
◆ 住宅ローン適用金利内訳（末残） （単位：億円）

	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
未残	12,866	13,142	15,221
変動金利 (構成比)	7,479 (58.1%)	8,450 (64.2%)	10,347 (67.9%)
10年固定 (構成比)	4,658 (36.2%)	4,030 (30.6%)	4,209 (27.6%)

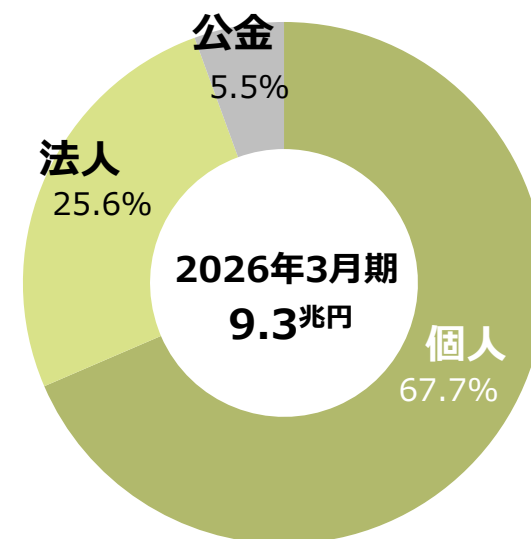
- 円貨預金は、安定的に増加しています。
- 政策金利引き上げの影響により平均金利は、緩やかに上昇しています。

◆ 円貨預金（月中平均残高） （単位：億円）

（注）残高下部（）内は【月中平均金利】



◆ 属性別構成比（円貨平均残高ベース）



■ ご参考 ■

- 2024年 3月
 - … マイナス金利解除
- 2024年 7月
 - … 政策金利（0.25%）程度へ引上げ
- 2025年 1月
 - … 政策金利（0.50%）程度へ引上げ
- 2025年12月
 - … 政策金利（0.75%）程度へ引上げ

- 役務取引等利益は、シンジケートローンや投資信託関連の手数料が増加したことにより、127億円（前期比+23億円）となりました。

(億円)		<2行合算>					
		八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	2024/3 八十二+長野	2025/3 八十二+長野	2026/3 八十二長野 +長野※
役務取引等利益		103	104	127	106	103	126
役務取引等収益		186	192	221	204	204	228
〈主な項目〉	預金・貸出金業務	92	99	121	99	104	123
	為替業務	51	54	57	55	57	60
	証券関連業務	20	20	23	20	20	23
	代理業務	10	6	7	12	8	8
	クレジット関係業務	6	6	7	6	6	7
役務取引等費用		83	88	94	97	101	102
〈主な項目〉	支払ローン関係手数料	63	67	70	75	78	77
	為替業務	6	7	6	6	7	7

◆ 法人分野（主要項目） ※

（億円）		八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
主要項目<合計>		34.2	42.3	62.2
	シンジケートローン・私募債等	12.7	16.1	31.0
	デリバティブ関連	10.1	14.4	13.5
	M&A・コンサルティング関連	11.3	11.7	17.6

※ コンサルティング業務による収益を表示しています。また、その他業務利益など役務取引等利益以外も含んでいます。

◆ 個人分野 投資型金融商品収益（八十二長野銀行単体+八十二証券 ※当行への仲介手数料控除後）

（億円）		八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
八十二長野銀行+八十二証券		54.0	42.4	49.7
八十二長野銀行		29.9	26.0	28.3
〈主な項目〉	公共債	0.5	0.7	1.1
	生損保	8.0	4.1	4.9
	投資信託	14.1	16.3	18.5
	金融商品仲介・紹介	1.8	0.2	0
	外貨預金	5.3	4.5	3.7
八十二証券		24.1	16.3	21.4
〈主な項目〉	仕組債	1.4	0.2	0.2
	信託報酬	3.9	4.4	4.8
	投信販売	3.6	1.9	1.7
	株式	15.0	9.7	14.5

- 有価証券関係損益（売買）は、超長期債の売却等により国債等債券売却損を計上しましたが、株式等売却益の増加により前期比+11億円となりました。
- 有価証券評価損益は、国内金利の上昇により債券の評価損失が拡大したものの、国内株価が上昇したため、前期比+1,949億円（NET）となりました。

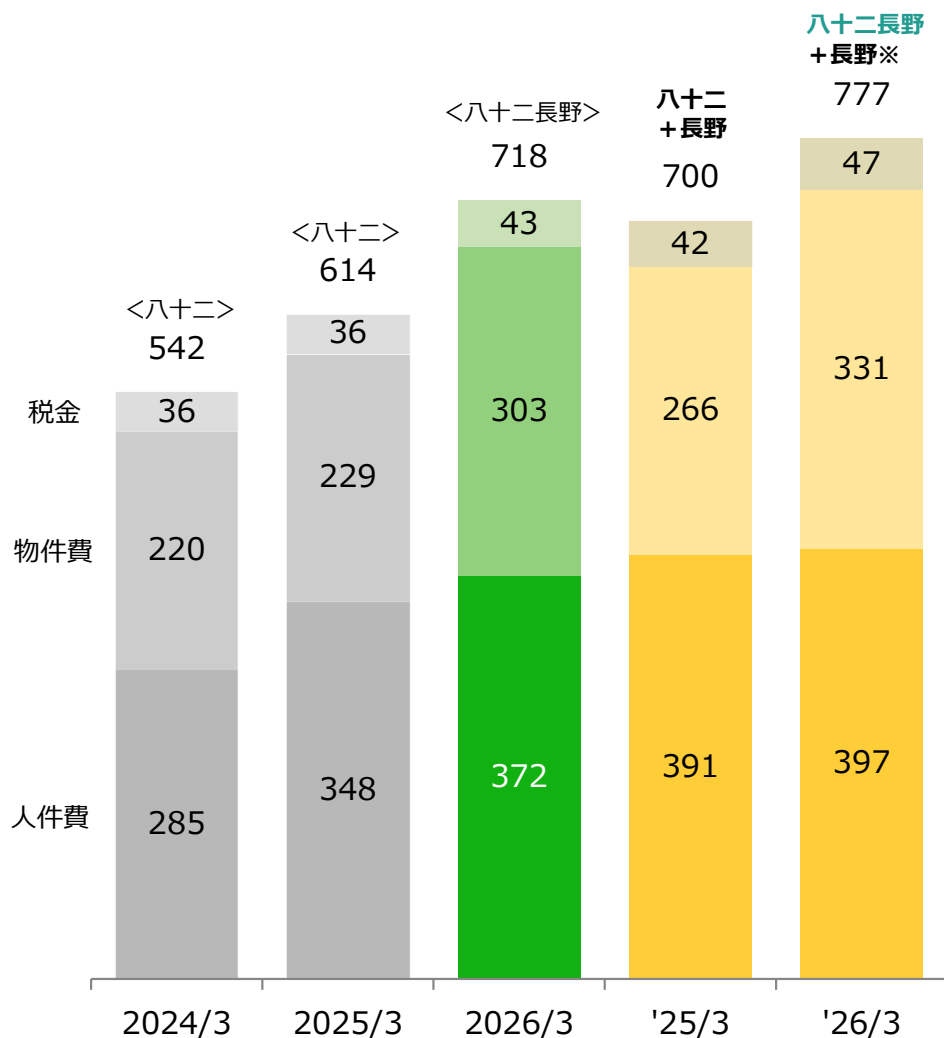
◆ 有価証券関係損益（売買） <small>（単位：億円）</small>	<2行合算>					
	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	2024/3 八十二+長野	2025/3 八十二+長野	2026/3 八十二長野 +長野※
株式等損益	100	295	352	133	318	355
国債等債券損益	▲62	▲119	▲163	▲186	▲161	▲163
金銭の信託運用損益	▲9	▲2	▲3	▲9	▲2	▲3
計	28	173	184	▲62	154	187

◆ 有価証券評価損益 <small>（単位：億円）</small>	<2行合算>					※ 変則決算 ：2025年12月期
	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	2024/3 八十二+長野	2025/3 八十二+長野	
株 式	6,416	4,671	6,670	6,479	4,701	
うち政策株式	5,663	1,116	1,608	5,707	1,145	
債 券	▲509	▲1,208	▲1,961	▲589	▲1,302	
その他	▲28	▲70	36	▲26	▲70	
計	5,878	3,393	4,745	5,863	3,328	
ヘッジ会計付 金利スワップ評価損益	500	815	1,412	500	815	
NET	6,378	4,208	6,157	6,364	4,143	

- 物件費は、合併に伴うシステム関連費用等の増加および八十二みらい財団への寄付により前期比+74億円となりました。
- 人件費は、合併による人員増加およびベースアップ等により前期比+24億円となりました。

◆ 経費 (単位：億円)

<2行合算>



◆ 増加要因 (単位：億円)

	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	主な増減要因
物件費	229	303	<ul style="list-style-type: none"> ・八十二みらい財団への寄付 (前期比+30億円) ・合併に伴うシステム関連費用等の外注委託費 (前期比+24億円) ・郵便費 (前期比+4億円)
人件費	348	372	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースアップおよび合併による人員増加分の給与 (前期比+15億円) ・合併前における長野銀行からの出向受入等臨時雇用費 (前期比+11億円)

◆ 投資額 (単位：億円)

	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	主な投資
投資額	49	54	<ul style="list-style-type: none"> ・合併関連 (店舗改装、システム対応、看板等設備変更) ・伊那北支店新築

※ 変則決算：2025年12月期

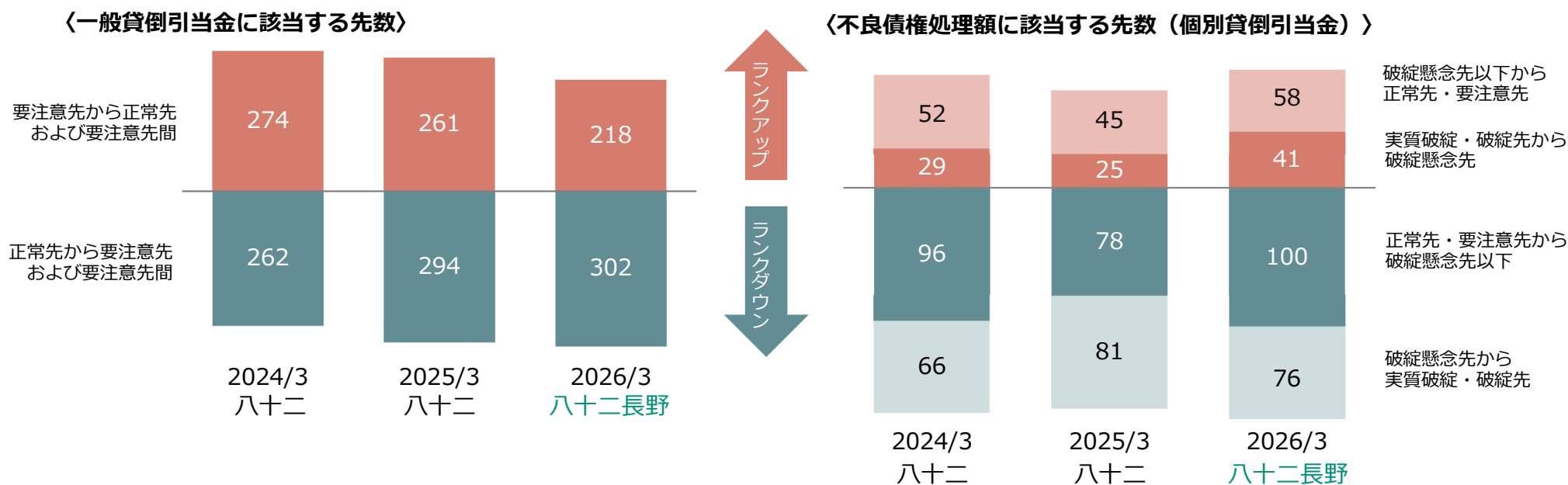
- ランクダウン先数は増加したものの、貸倒引当金戻入益により、▲3億円となりました。

<2行合算>

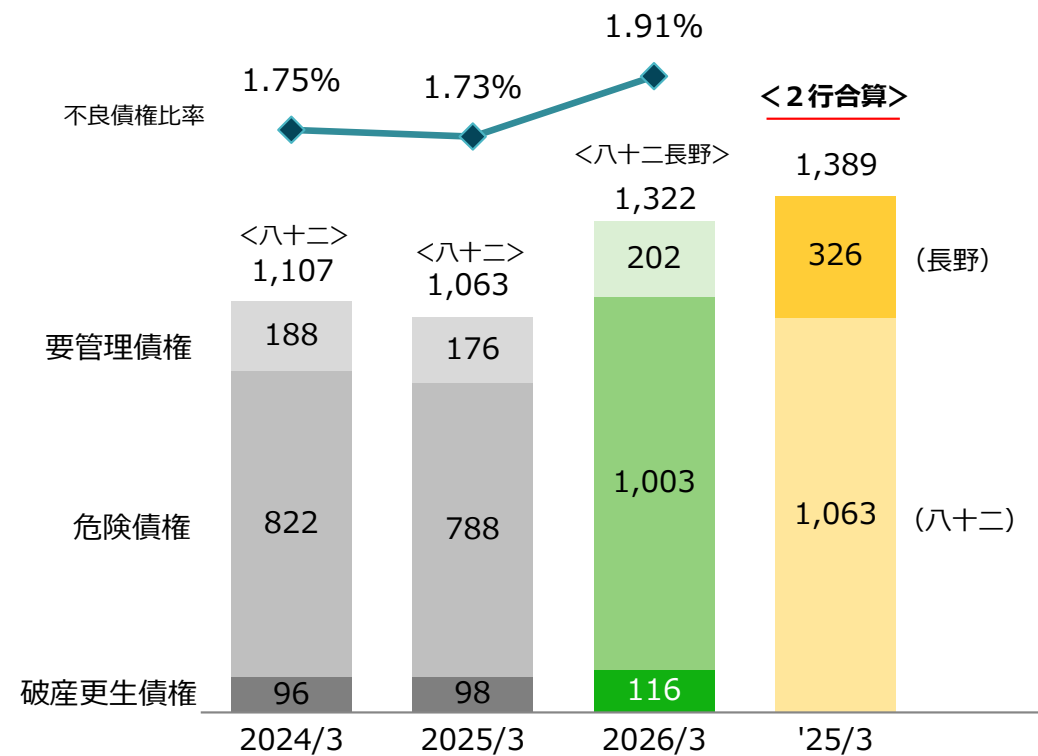
◆ 与信関係費用 (単位：億円)	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	2024/3 八十二+長野	2025/3 八十二+長野	2026/3 八十二長野 +長野※
一般貸倒引当金繰入額	2	▲5	—	6	▲5	—
不良債権処理額	11	22	5	41	23	4
貸倒引当金戻入益 (▲)	—	—	8	—	3	12
与信関係費用 (合計)	13	17	▲3	48	14	▲7
大口要因 (±10億円以上変動先)	▲12	—	—	1	—	—

◆ ランクアップ/ダウン先数 (単位：先)

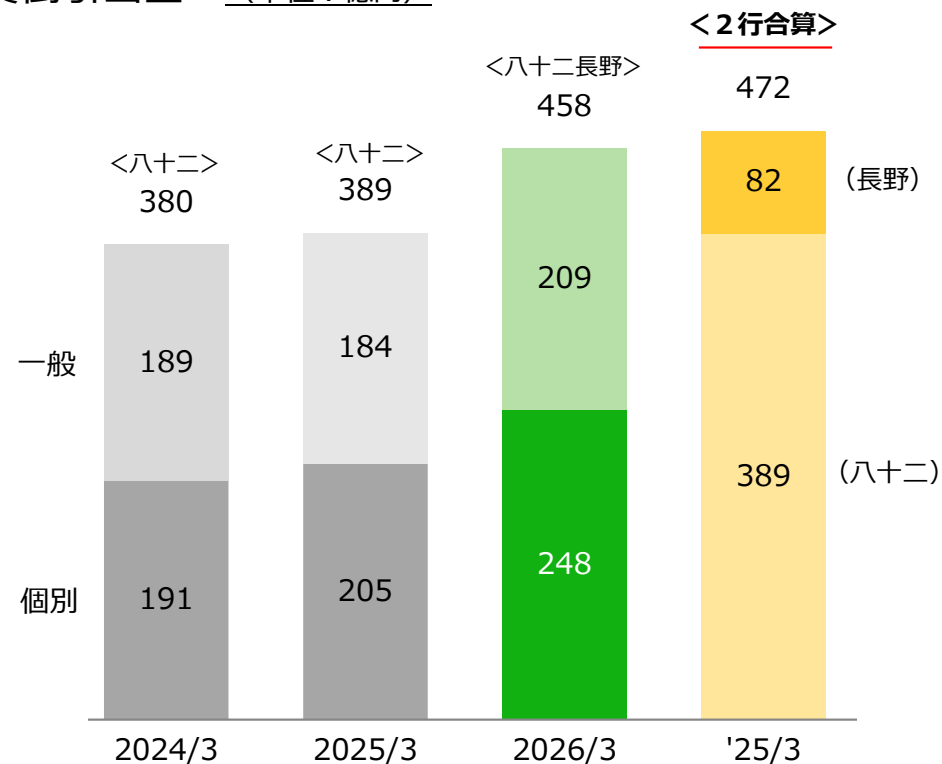
※ 変則決算：2025年12月期



◆ 不良債権 (単位：億円)



◆ 貸倒引当金 (単位：億円)



	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
要管理債権	188	176	202
危険債権	822	788	1,003
破産更生債権	96	98	116
合計	1,107	1,063	1,322
不良債権比率	1.75%	1.73%	1.91%

	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3
一般貸倒引当金	189	184	209
正常先	72	76	87
その他要注意先	54	63	75
要管理先	61	43	47
個別貸倒引当金	191	205	248
破綻懸念先	165	169	207
実質破綻先・破綻先	25	36	41
合計	380	389	458

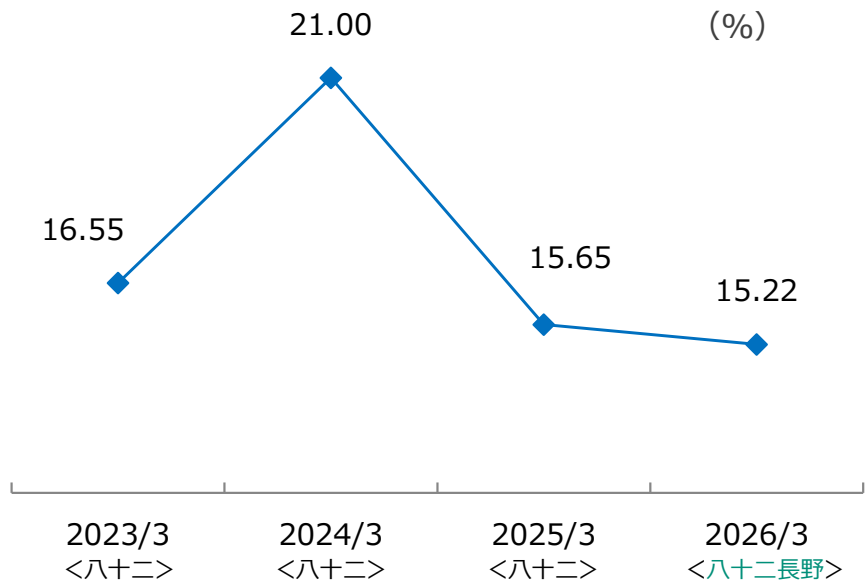
- バーゼルⅢによる総自己資本比率、Tier1比率および普通株式等Tier1比率はともに15.22%です。
- 劣後債などの資本調達は実施していないため、総自己資本比率、Tier1比率、普通株式等Tier1比率とも同値です。

◆ バーゼルⅢ基準

	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	増減
総自己資本比率	15.65%	15.22%	▲0.43%
Tier1比率	15.65%	15.22%	▲0.43%
普通株式等Tier1比率	15.65%	15.22%	▲0.43%
総自己資本額（億円）	7,407	9,056	1,648
Tier1	7,407	9,056	1,648
（普通株式等Tier1）	(7,407)	(9,056)	1,648
Tier2	—	—	—
リスクアセット（億円）	47,319	59,476	12,156
信用リスク	45,229	56,630	11,400
オペレーショナルリスク	2,090	2,845	755

◆ 自己資本比率の推移（単体）

総自己資本比率（Tier1比率）



【参考】自己資本比率の推移（連結）

	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
総自己資本比率	18.36%	20.74%	16.29%	16.72%
Tier1比率	18.36%	20.74%	16.29%	16.72%

グループ法人名	銀行及びその子会社等の出資比率合計	2025/3		2026/3		特記事項
		経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	
長野銀行 <small>2026年1月1日合併 <変則決算：2025年12月期></small>	100.0%	▲1,513	▲1,501	665	506	国債等債券売却損の減少等により最終利益黒字化。
八十二証券	100.0%	▲292	▲504	204	166	堅調な株式相場の下支えもあり黒字化。
八十二リース	100.0%	875	624	691	495	債権残高増加や利回り改善等するも、貸倒引当金繰入額の増加により減益。
ながぎんリース <small>2027年1月（予定） 八十二リースと合併</small>	100.0%	264	159	356	237	八十二リースへの取引集約により、新規案件減少するも、貸倒引当金戻入により増益。
八十二カード	100.0%	158	106	150	98	取扱高は増加するも、特別損失計上により減益。
長野カード	100.0%	▲51	▲74	▲84	▲107	新規受付停止と会員減少で減収。減損処理により赤字拡大。
八十二信用保証	100.0%	2,116	1,419	2,061	1,362	保証料率低下で減収、与信コスト増加により減益。
八十二キャピタル	41.0%	218	166	247	247	配当収入とファンド管理報酬増加により増収増益。
八十二スタッフサービス	100.0%	33	21	30	22	派遣収入減少により減収となるも、人材紹介増加により増益。
やまびこ債権回収	99.0%	147	104	7	▲41	債権回収増加で増収となるも、買取債権増加による与信コスト増加および税負担増加により赤字化。
八十二オートリース	100.0%	1,078	714	1,130	749	債権残高増加・利回り改善により増収増益。
八十二アセットマネジメント	100.0%	83	56	97	67	運営ファンドからの報酬増加により増収増益。
八十二インベストメント	100.0%	23	14	17	11	管理報酬横ばいも、費用増加により減益。
八十二Link Nagano	100.0%	35	34	▲30	▲62	商社事業・電力事業で増収となるも、補助金事業の支払先行や電力事業における税負担増加により赤字化。

◆ 連結 (億円)	2026/3	<予想> 2027/3	前期比
経常利益	815	最高益見込み 1,060	245
親会社株主に帰属する当期純利益	645	最高益見込み 730	85

◆ 単体 (億円) 2026年1月1日に長野銀行と合併しました	2026/3	<予想> 2027/3	前期比
業務粗利益 (A)	1,100	1,294	194
資金利益	1,114	1,181	67
役務取引等利益	127	133	6
その他業務利益	▲146	▲38	108
国債等債券損益 (B)	▲163	▲47	116
経費 (C)	718	702	▲16
うち人件費	372	377	5
うち物件費	303	271	▲32
実質業務純益 (A-C)	381	592	211
コア業務純益 (A-B-C)	545	639	94
一般貸倒引当金繰入額 (D)	—	11	11
業務純益 (A-C-D)	381	581	200
臨時損益			
株式等損益 (E)	352	389	37
金銭の信託運用損益 (F)	▲3	—	3
不良債権処理額	5	38	33
経常利益	758	最高益見込み 1,010	252
当期純利益	665	最高益見込み 700	35
有価証券関係損益 (B+E+F)	184	342	158
与信関係費用	▲3	50	53

株主還元方針（2026年2月20日公表）

連結配当性向40%以上を目安とし、配当金の維持または増加を目指します。
自己株式取得は市場環境などを考慮のうえ、機動的に実施します。

	八十二 2024/3	八十二 2025/3	八十二長野 2026/3	<予想> 2027/3	
年間配当額	116億円	195億円	273億円	295億円	<見込み>
1株当たり配当額（年間）	24.0円	42.0円	記念配当 （5円）含む 60.0円	65.0円	6期連続 増配
中間期配当額	10.0円	13.0円	20.0円	30.0円	
自己株式取得額	100億円	205億円	100億円	100億円	
株主還元額	216億円	400億円	373億円	395億円	<見込み>
当期純利益（連結）	370億円	479億円	645億円	730億円	4期連続 最高益
配当性向（連結）	31.4%	41.4%	42.4%	40.4%	
株主還元率（連結）	58.4%	83.5%	57.8%	54.1%	

※参考※ 2024年3月期：経営統合の影響を除いた数値 配当性向（連結）40.9% 株主還元率（連結）76.3%

- 本資料は情報提供を目的としたものであり、有価証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料には将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料に記載された事項は予告なく修正されることがあります。

<ご照会先>

企画部（I R・広報室）

TEL：026-224-5512

E-mail：irtantou@bank.82group.jp